

「文京区立音羽中学校」

出前授業・模擬選挙実施について



1 出前授業名

第1ステージ：「投票することの意義」「候補者の政策」を考えよう！

第2ステージ：音羽区長を決めよう！（模擬区長選挙）

2 授業担当者

文京区立音羽中学校・文京区選挙管理委員会

文京区明るい選挙推進協議会

若者啓発団体「学生団体 ivote（アイヴォート）」

3 授業実施日時

平成27年10月19日（月）5、6時間目（13：30～15：20）

4 授業実施場所

区立音羽中学校体育館

5 授業対象者

中学3年生 92名（3クラス）



6 授業目的

選挙権年齢を18歳以上に引き下げる法案が可決、成立し、平成28年夏に実施予定の参議院議員選挙から適用される可能性が高くなったことから、将来を担う子どもたちが、早い段階から選挙制度を理解し、将来において積極的に投票行動を起こす礎となるよう、参加・体験型の授業として実施する。

7 授業のねらい

主権者教育の一環として、実際の選挙のように、選挙公報を読み、候補者の演説や討論を聴いて、実際に投票を体験することで、自ら考え投票することの意義を理解させることをねらいに実施する。

また、実際の選挙に近い投・開票環境を整えて実施することで、選挙が公正・公平な中で行われていることを体験する。

8 授業スケジュール

【5時間目】(13:30~14:20)

◎選挙制度に関する講話・候補者討論会 (50分)



- 13:30~ 音羽中学校長挨拶 5分
【音羽中学校校長】
- 13:35~ 主催者紹介 5分
【選挙管理委員会事務局長】
- 13:40~ 選挙に関する講話 20分
【アイヴォート代表】
- 14:00~ 候補者演説 10分
【アイヴォート3名】
- 14:10~ 候補者討論会 10分
【アイヴォート4名】

~休憩(10分)~



【6時間目】(14:30~15:20)

模擬投票・開票体験 (50分)

- 14:30~ 模擬投票開始 20分
○受付・用紙交付 【3年生 3クラス×2名】
○投票管理者・立会人【委員3名・推進委員3名】
- 14:50~ 開票作業開始 10分
【3年生 3クラス×2名】・【選挙管理委員会事務局担当】
- 15:00~ 投開票の実務について(実際の選挙から) 10分
【選挙管理委員会事務局】
- 15:10~ 開票結果について・当選証書授与 5分
【選挙管理委員会事務局局長】【選挙管理委員会委員長】
- 15:15~ 明るい選挙推進協議会会長あいさつ・講評 5分
【明るい選挙推進協議会会長】・【区立音羽中学校社会科教諭】
- 15:20~ お礼の言葉 2分
【区立音羽中学校生徒会長】

9 授業役割分担

選挙制度に関する講話から、候補者演説会、投開票までを同一会場の体育館で実施することとし、中学校生徒と選挙管理委員会、明るい選挙推進協議会、学生団体（アイヴォート）が連携して出前授業・模擬投票を実施する。

(1) 若年層の投票率向上に関する講話

中学3年生を対象に主権者教育の一環として実施する出前授業であり、若年層の投票率の向上に繋がる講話が求められる。

このため、若年層、とりわけ学生の投票率向上に向けた様々な啓発活動を展開している「学生団体 ivote（アイヴォート）」に講話を依頼する。

【講話内容】

学生団体として、若年層の投票率向上に取り組んでいる趣旨（設立の趣旨）と、大学生の視点から見た学生時代に選挙制度に触れることの重要性について、パワーポイント等を活用して、生徒とのやり取りを交えて講話する。



(2) 投開票に関する説明

実際の選挙制度における投票と開票の方法を、パワーポイントを活用して説明し、多くの区職員や地域住民（投票管理者・投票立会人）が事務に従事し、公平・公正な選挙が行なわれていることを理解させる。

(3) 立候補者関係事務

① 区長選候補者（アイヴォートメンバー3名）

候補者は、演説や討論会を通じ、直面する行政課題をどのように解決し、推進していくのかを有権者である生徒に訴えることで、選挙人である生徒が考えて投票することの意義を学習させる。

② 選挙公報の作成

実際の選挙と同様に選挙公報を作成し、候補者がどのような区政を目指しているのかを、生徒に理解してもらう目的で作成する。

選挙公報は、学生団体（アイヴォート）が原案を作成、選管事務局が所定の書式に貼り付けて印刷し、一週間前を目途に学校に配付する。



③ 候補者ポスターの作成

中学3年の各教室の廊下及び共有スペースにポスター掲示場を設け、生徒に実際の選挙と同様の雰囲気を経験してもらう。

選挙ポスターは、学生団体（アイヴォート）が作成し、選管事務局が用意したポスター掲示場に貼付して、事前に学校に送致し、各教室の廊下及び共有スペース等に掲示する。



(2) 投票事務の役割分担

① 受付事務担当

投票所受付事務として、生徒会役員3名がこれにあたる。

受付担当は、事前に生徒に配付される投票所入場整理券を受け取り、選挙人名簿と照合することで、投票資格の有無を確認する。



② 用紙交付担当

投票用紙を交付するため、生徒会役員3名がこれにあたる。

用紙交付担当は、生徒から入場整理券を受け取り、所定欄に「レ」チェックがあることを確認してから、投票用紙交付機の男女別のボタンを押して投票用紙を交付する。



③ 投票所投票管理者・投票立会人担当

投票所の秩序維持と公正な選挙を執行するため、投票管理者として選挙管理委員会委員を各クラスの投票スペースに各1名配置する。

また、投票管理者を補佐する投票立会人には、明るい選挙推進委員を各クラスの投票スペースに各1名配置する。



④ 投票事務アドバイザー

選挙管理委員会事務局職員は、投票受付・用紙交付がスムーズに行われるよう、生徒の補佐を行なう。

(3) 開票事務の役割分担

① 開票事務分担

3クラス全ての生徒の投票が終了した時点で、開票作業の準備及び開票作業を実施する。開票作業は各クラス2名の学級委員がこれにあたる。

また、選挙管理委員会事務局職員はこれを補佐する。

ア 開被・分類作業

開票アドバイザー（選挙管理委員会事務局職員）の指示に従い、投票箱を開被・分類台に移動し、投票箱の鍵を取り外した状態にしておく。

振鈴の合図で投票箱から投票用紙を取り出し、他の投票と混同して開被・分類作業を開始する。投票は分類トレーを用いて候補者別に分類する。



イ 内容点検作業

候補者別に分類した投票用紙に、他の候補者の票が混入していないかを確認する。

また、投票用紙の欄外や裏面に記載がないかを点検する。

ウ 計数作業

候補者別の投票用紙を計数機で数える。

計数作業は実際の選挙と同様に、計数機2台を使用して行なう。



エ 集計作業

候補者別の得票数を、得票数一覧に転記し、投票者数と一致しているかを確認したうえで選挙長（選挙管理委員会委員長）に報告する。

オ 当選発表・当選証書授与

選挙長は当選者を決定し、候補者全ての得票を読み上げ開票を終了する。引き続き、当選人に対し、当選証書の授与式を実施する

10 必要物品・機材 等

立会演説会、投・開票事務等に必要な物品・機材は以下のとおりである。

【立候補者討論会スペース必要物品】

◎選挙管理委員会事務局が用意する物品

- 舞台横断幕 1枚
- 候補者氏名表示物（たすき） 3枚
- 討論会席表示物（司会・候補者） 4枚



◎音羽中学校が用意する物品

- 演台 1台 ○横断幕看板 1台 ○椅子 130脚
- 音響装置 1式（ワイヤレスマイク3本） ○プロジェクター 1台

【投票スペース必要物品】

◎選挙管理委員会事務局が用意する物品

- 投票箱 3箱 ○記載台（4人用）6脚 ○投票用紙 100枚
- 投票用紙自動交付機 3台 ○入場整理券 100枚
- 投票所表示物（受付・用紙交付・投票記載所・投票箱・投票管理者立会人等） 各3枚 ○氏名等掲示 24枚 ○鉛筆 24本
- 赤鉛筆 6本

◎音羽中学校が用意する物品

- 折り畳みテーブル 9脚
 - ・受付用3脚 ・用紙交付用3脚 ・投票管理者、立会人用3脚
- 椅子 12脚
 - ・受付用3脚 ・用紙交付用3脚 ・投票管理者、立会人用6脚

【開票スペース必要物品】

◎選挙管理委員会事務局が用意する物品

- 投票用紙計数機 2台 ○分類用トレー 6枚 ○開票集計関係書類 1式
- 電卓 2台 ○ボールペン 10本

◎音羽中学校が用意する物品

- 折り畳みテーブル 6脚 ○椅子 10脚

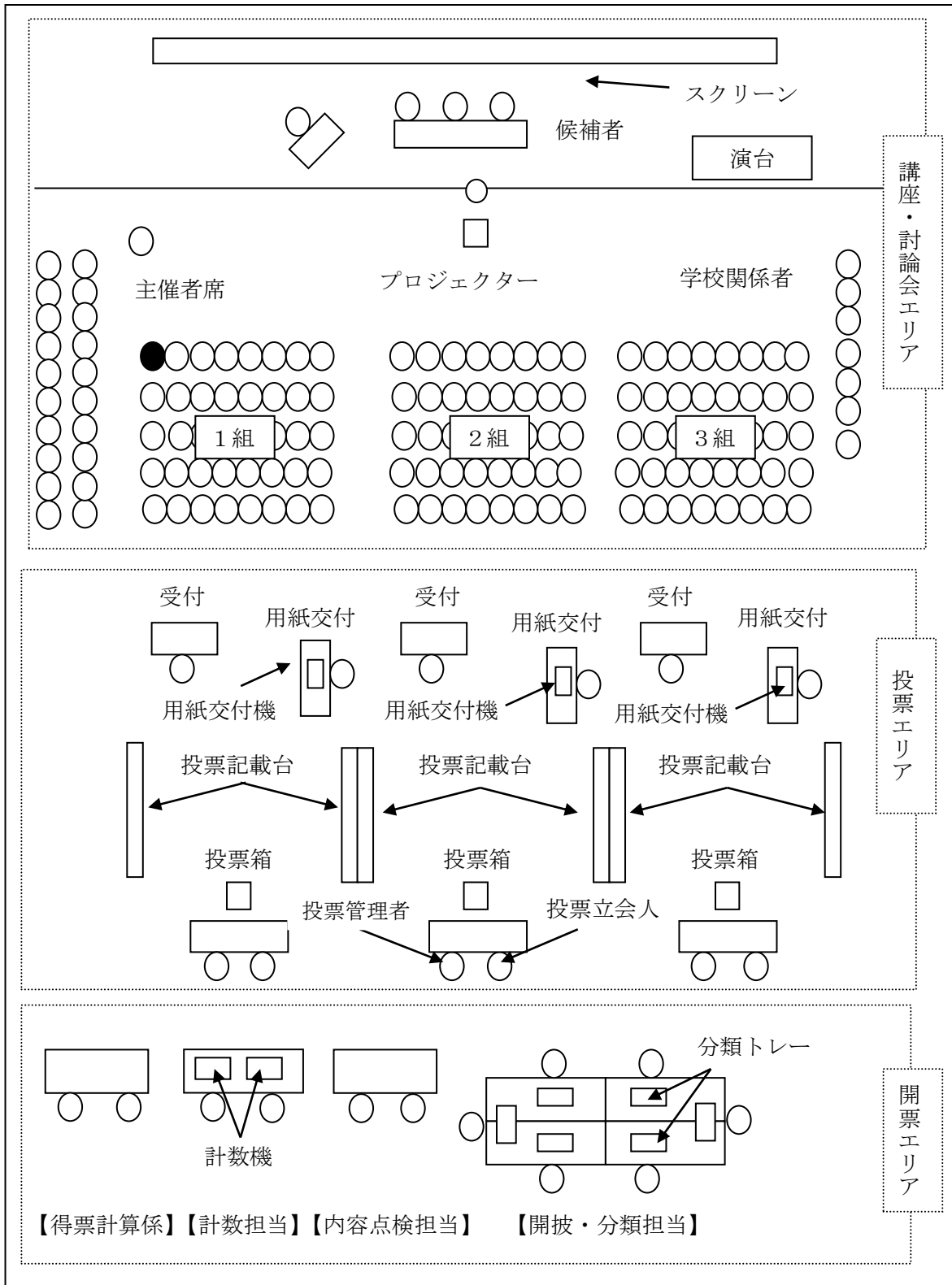


【授業・模擬選挙共通必要物品】

◎選挙管理委員会事務局が用意する物品

- 選挙出前講座・模擬選挙プログラム 130部
- 選挙公報 130枚 ○候補者ポスター 各4枚（各1枚×4か所）
- 電源ドラム 5台 ○アンケート 110枚
- ネームプレート・腕章（投票管理者・投票立会人・選挙管理委員会等）

11 出前講座・模擬選挙会場配置



12 事前準備

出前授業及び模擬選挙を円滑に進めるための事前準備を、早い段階から行う必要がある。特に、立候補者となる3名の学生においては、事前に選挙公報の原稿を作成するとともに、討論会において自らの政策を発表することになるので、自らの政策内容を事前にまとめておく必要がある。

また、選挙管理委員会事務局は、選挙公報の作成や候補者ポスターの作成、得票集計関係書類の作成など、事前に準備が必要な物品がある。

担当ごとに事前準備スケジュールを確認して業務に当たること。

(1) 事前打ち合わせの実施

区立音羽中学校教諭、文京区選挙管理委員会、文京区明るい選挙推進協議会、学生団体 ivote（アイヴォート）との連携を密に行い、各々の役割分担を確認するとともに、中学校公民科授業の進捗状況と照らし合わせ、単なる模擬選挙に終わらせるのではなく、生徒が政治と選挙制度を正しく理解できる授業内容にする。

(2) 立候補者の人選等

① 立候補者の人選

同じ若者の視点で政策を考えて主張してもらうことから、昨年に引き続き「学生団体 ivote（アイヴォート）」に出演を依頼している。

② 選挙公報原稿の作成、演説原稿の作成

候補者となった者は、自らが立候補者であることを前提に選挙公報原稿を作成する。

また、当日生徒を前にして実施する討論会の原稿を作成し、事前に学校及び選管事務局と調整を行う。

(3) 選挙関係資料の作成

① 選挙出前講座・模擬選挙周知パンフレットの作成

実際の選挙では、投票日を周知するため、区報ぶんきょうの紙面等を活用している。実際の選挙に近い方法で授業を進めてもらうため、模擬選挙周知パンフレットを作成し、学校を通じて中学3年生に配付する。

選挙チラシの作成・配付は選管事務局が行う。

② 選挙公報の作成・配付

生徒が自らの区の首長を選挙するにあたり、候補者が何を公約に掲げ、

どのような政策を実現しようとしているのかを知る機会として、選挙公報を活用することも重要な判断材料になる。このため、できる限り通常の選挙に近い選挙公報を作成し、生徒に配付する。

選挙公報の作成はアイヴォート、印刷・配付は選管事務局がこれを行う。

③ 選挙ポスターの作成・配付

実際の選挙では、公示（告示）日の立候補届出以降、公設のポスター掲示場以外には候補者のポスターを掲出することはできない。

選挙人は、ポスター掲示場に掲出されている候補者を確認して投票行動に移すので、選挙公報とともに候補者を知る重要な機会となる。

このため、事前に候補者ポスターを作成し、各クラスの掲示板上に掲出を依頼する。

選挙ポスターの作成はアイヴォート、配付は選管事務局がこれを行う。ポスター掲示場所は、各クラス廊下及び3年生共有スペースの4か所とする。

④ 投開票等選挙資材（帳票類）の準備

選管事務局は、投開票に必要な帳票類を事前に作成しておく。

【候補者討論会】

○演説会横断幕 ○候補者たすき（3候補）

○表示物（司会氏名・候補者氏名3候補）

【投票】

○投票用紙 ○氏名等掲示

○表示物（投票所・開票所・受付・用紙交付・投票箱 等）

○帳票類（当日有権者数、投票者数一覧）

【開票】

○帳票類（得票集計表） ○当選証書

(4) 選挙会場の確保

会場となる体育館は事前設営の準備を要するので、必要物品（テーブル・パイプ椅子・音響設備 等）の確保を含め、会場使用の許可を得ておく。（担当教諭に会場確保を依頼する。）

※体育館は、出来れば前日に設営を済ませておきたいが、体育館における体育授業等諸事情により事前設営ができない場合は、事前に資材を搬入し、当日の設営時間までに体育館入口にセットする旨、学校に許可を得ておく。

13 当日までのスケジュール

No.	事項	日程	内容
1	音羽中教諭との打合せ	8月18日	○実施企画案についての説明
2	学生団体との打合せ①	8月下旬	○実施企画案についての承諾
3	選挙管理委員会報告	10月9日	○協働による模擬選挙の実施報告
4	推協（推進委員）への依頼	9月上旬	○音羽地区推進委員の派遣依頼
5	学生団体との打合せ②	9月上旬	○立候補予定者への事前説明
6	全体打合せ	10月初旬	○当日の授業の進め方を共有
7	選挙公報原稿提出締切	10月9日	○原稿割付、印刷作業開始（選管）
8	選挙ポスター提出締切	10月9日	○選挙ポスター必要部数印刷
9	ポスター・選挙公報配付	10月13日	○選管が学校に持参
10	選挙ポスター掲出	10月13日	○各クラス掲示板に掲出
11	社会科公民分野授業	10月14日 ～16日	○選挙制度に関する授業
12	設営資材搬入	10月15日	○搬入準備（地下3階） 13:00 ○庁舎出発 13:30 ○地下1地域開放室搬入 14:00 ○庁舎帰着 15:00
13	出前講座・模擬投票当日	10月19日	○庁舎出発 8:40 ○選挙資材運び出し 9:00 ○体育館設営開始 9:30 ○体育館設営終了 11:30 ○スタッフ打合せ 11:30 ○昼食休憩 11:45 ○昼食休憩終了 12:30 ○教室街頭演説開始 12:35 ○授業開始 13:30 ○授業終了 15:20 ○体育館設営撤去開始 15:20 ○体育館設営撤去終了 16:30 ○庁舎帰着 16:50 ○資材収納（地下3階） 17:00

※体育館の設営作業は、当日の2時間目である9時30分から開始することになる。選挙資材は10月15日の木曜日に搬入し、地下1階地域開放室に保管しておく。当日は1時間目終了までに体育館入口まで運搬しておく。

14 担当業務一覧

分 担	氏 名	職 名 等
司会進行	高 木 二 郎	選挙管理委員会事務局次長
挨拶		
学校長挨拶	愛 川 睦	音羽中学校校長
主催者側紹介		
主催者紹介	浅 川 道 秀	選挙管理委員会事務局長
講話（若者の投票率向上に向けて）		
講話・討論会司会	齊 藤 駿 也	学生団体アイヴォート
立候補者演説・討論会		
コーディネーター	八木下 磨 甫	学生団体アイヴォート
候補者①	木 村 海	
候補者②	原 田 竜 馬	
候補者③	鈴 木 威 芙 槻	
模擬投票・模擬開票		
投開票実況	原 島 宏 之	選挙管理委員会事務局職員
模擬投票（第1投票所）		
受付担当①	生徒会選挙管理委員	音羽中学校生徒
用紙交付担当①	生徒会選挙管理委員	音羽中学校生徒
投票管理者	角 野 英 毅	選挙管理委員会委員
投票立会人	櫻 井 芳 枝	明るい選挙推進委員（音羽地区）
アドバイザー①	小 倉 浩	選挙管理委員会事務局職員
模擬投票（第2投票所）		
受付担当②	生徒会選挙管理委員	音羽中学校生徒
用紙交付担当②	生徒会選挙管理委員	音羽中学校生徒
投票管理者	柳 内 克 夫	選挙管理委員会委員
投票立会人	上 野 克 子	明るい選挙推進委員（音羽地区）
アドバイザー②	沖 山 翔 太 郎	選挙管理委員会事務局職員
模擬投票（第3投票所）		
受付担当③	生徒会選挙管理委員	音羽中学校生徒
用紙交付担当③	生徒会選挙管理委員	音羽中学校生徒
投票管理者	堀 内 喜 司 夫	選挙管理委員会委員
投票立会人	沼 田 幸 昭	明るい選挙推進委員（音羽地区）
アドバイザー③	内 田 将 吾	選挙管理委員会事務局職員

分 担	氏 名	職 名 等
模擬開票		
選挙長開始合図	南 部 恵 一	選挙管理委員会委員長
開被分類担当①	3年1組学級委員	音羽中学校生徒
開被分類担当②	3年1組学級委員	音羽中学校生徒
開被分類担当③	3年2組学級委員	音羽中学校生徒
開被分類担当④	3年2組学級委員	音羽中学校生徒
開被分類担当⑤	3年3組学級委員	音羽中学校生徒
開被分類担当⑥	3年3組学級委員	音羽中学校生徒
内容点検担当①	3年1組学級委員	開被分類担当①の生徒
内容点検担当②	3年1組学級委員	開被分類担当②の生徒
計数担当①	3年2組学級委員	開被分類担当③の生徒
計数担当②	3年2組学級委員	開被分類担当④の生徒
得票集計担当①	3年3組学級委員	開被分類担当⑤の生徒
得票集計担当②	3年3組学級委員	開被分類担当⑥の生徒
開票アドバイザー	小 倉 浩	選挙管理委員会職員（開被分類）
	沖 山 翔太郎	〃（内容点検）
	内 田 将 吾	〃（計数計算・得票集計）
講話（投開票の実務について）		
講話	沖 山 翔太郎	選挙管理委員会事務局職員
開票結果発表		
開票結果発表	南 部 恵 一	選挙管理委員会委員長
当選証書授与・講評	浅 川 道 秀	選挙管理委員会事務局長
閉会挨拶	奥 山 政 治	明るい選挙推進協議会会長
閉会挨拶	入 子 彰 子	音羽中学校主任教諭
お礼の言葉	生徒会長	音羽中学校3年生代表
会場設営・撤去		
設営・撤去	選管職員・学生団体	